

日本社会科教育学会

第 62 回全国研究大会(東京大会)のご案内(1次案内)

日本社会科教育学会会長 江口 勇治
全国研究大会実行委員長 坂井 俊樹

ご案内のように、第 62 回全国研究大会を東京学芸大学で開催する運びとなりました。これからの社会科について様々な角度から議論される場になることを期待しております。多くの方々にご参加いただきますようご案内申し上げます。

- 1 主催 日本社会科教育学会 日本教育大学協会社会科部門
- 2 共催 東京学芸大学
- 3 後援 東京都教育委員会 小金井市教育委員会 国分寺市教育委員会
小平市教育委員会 (申請中)
- 4 会場 東京学芸大学 (〒184-0015 東京都小金井市貫井北町 4-1-1)
- 5 期日 2012 (平成 24) 年 9 月 29 日 (土)・30 日 (日) ※ 関連行事は 28 日 (金)
- 6 日程

第 1 日目 9 月 29 日 (土)

8:40	9:30	12:00	13:00	16:00	17:30	19:30
受付	自由研究発表 I	昼食 評議員会	シンポジウム		総会	懇親会 (大学生協)

第 2 日目 9 月 30 日 (日)

8:30	9:00	12:00	13:00	15:30
受付	自由研究発表 II	昼食	課題研究	

7 関連行事 (折込の案内参照)

授業公開 9 月 28 日 (金)

東京学芸大学附属小金井中学校 11:40~12:30

東京学芸大学附属小金井小学校 13:20~14:05

研究協議会 14:20~16:00

ワークショップ 16:30~18:00

8 シンポジウム

テーマ: 「リスク社会における社会科のあり方 (存在意義) を考える」

【趣旨説明】

既存の科学的知見では「予想さえしなかった」、あるいは「想定外」といわれる危機 (葉害問題、鳥インフルエンザ、口蹄疫、BSE、ダイオキシン、自然災害、東日本大震災、原発事故と放射能汚染など) に翻弄される時代に私たちは生きている。いずれの危機も、自然と社会の巨大な複合的現象として立ち現れ、しかも今日のグローバル社会では、危機も狭い地域にとどまることなく、地球規模で拡散していくものとなっている。

こうした新しい事態を「非知」(ベック)と呼び、現代はそれが拡大した「リスク社会」と呼ぶことができる。「リスク社会」を考えるためには、多様なコミュニケーションに根ざした熟議と新たな公共圏の構築が不可欠であり、安易な合意形成の再考を迫る。「個人化」「孤立化」傾向にある現代の子どもたちに対しては、従来の社会科教育や学習指導要領の枠組みを超えた学力や資質が求められるのである。しかも「リスク社会」には、向き合う側の情報に対する批判的なスキルの育成、自己の意見を発信していく能力も今以上に求められることになる。

今回、私たちは、「リスク社会」と向き合うための理論と実践を検討するために、4人の異なる立場から、福島で起きている問題を中心に、具体的な問題提起をいただく計画である。また指定討論者には「リスク社会」論の基盤となる理論社会学と現代青年論の立場からコメントしていただく予定である。

報告者1：環境教育から今日の実践課題を探る

三石初雄（東京学芸大学）

報告者2：リスク社会のなかの現代若者像

中妻雅彦（愛知教育大学）

報告者3：放射能に向き合う農業者の挑戦

菅野正寿（福島県有機農業ネットワーク）

報告者4：教育実践からリスク社会に迫る

小田賢二（福島県立田村高等学校）

指定討論者 浅野智彦（東京学芸大学）

司会 木村博一（広島大学） 坂井俊樹（東京学芸大学）

9. 課題研究

I. 社会科授業の研究と経験を科学する

コーディネータ 松本康（香川大学） 増田亮（東京都大田区教育委員会）

[趣旨] 本学会では、授業研究方法において、質的研究方法の面からの議論が十分に展開されてこなかったようである。子どもたちや教師たちの、いわば深層まで探る質的研究方法は、社会科教育でどこまで可能なのか、いままでの授業研究史を踏まえて議論したい。

II. 格差と貧困の現実には、社会科はどう向き合うか

コーディネータ 重松克也（横浜国立大学） 久保田貢（愛知県立大学）

[趣旨] 格差・貧困の蔓延が放置される社会は、「暴力的社会」といえる。市民性育成を標榜する社会科は、子どもたちを取り巻く現実にはいかに立ち向かうのか、「格差・貧困」の視点から社会科実践のあり方を議論したい。

III. 社会科学習指導要領の課題を実践から問い直す ー言語活動の工夫と評価

コーディネータ 北俊夫（国士舘大学） 吉川幸男（山口大学）

[趣旨] 新教育課程では、言語活動が重視されているが、小・中・高校を見通した社会科教育における言語活動のあり方と発展、またそうした言語活動の評価をどのような観点から進めるか、具体的事例を基にして議論したい。

IV. 社会科教師としての成長を考える

コーディネータ 梶井貢（総合初等教育研究所） 平田博嗣（東京学芸大学附属小金井中）

[趣旨] 社会科教師たちは、世代や地域、職場環境の違いの中で、どのような課題や壁に直面するのであろうか。社会科教師としてのライフヒストリーを読み解くためには、社会や学校への向き合い方など教科の特性との関連だけでなく、私的な領域をも視野に入れることが重要となろう。多様な事例から、教師の成長という問題を考えたい。

V. 社会科を軸に防災の授業をどうつくるか ー釜石の奇跡に学ぶー

コーディネータ 寺本潔（玉川大学） 池俊介（早稲田大学）

[趣旨] 小学校に「自然災害の防止」が中学校に国土の災害や安全、E S Dが導入され、防災

の授業づくりが求められている。教材開発や学校防災計画などとの関係を視野にその教材や方法論について考えたい。

10 参加費等

(1) 大会参加費

一般会員：3000 円（事前登録）、3500 円（当日登録）

学生・院生会員：2500 円（事前登録）、3000 円（当日登録）

非会員：3500 円（事前登録・当日登録とも）

(2) 懇親会

会員・非会員によらず事前申込 4000 円，当日申込 5000 円

【振込先】銀行名：三菱東京 UFJ 銀行

支店名：江戸川橋支店（060）

口座番号：（普）0062528

口座名：日本社会科教育学会第 62 回全国研究大会

（ニホンシヤカイカキヨウイクガツカイダイロクジユウニカイ
ゼンコクケンキユウタイカイ）

11 大会参加登録について（締切 8/30）

- ・大会への参加は、学会ホームページの第 6 2 回全国研究大会（東京大会）をご確認の上、お申し込みください。ホームページをご覧になれない方は、同封の用紙にてファックス（勁草書房 03-3814-6904）でお送りいただいても結構です。
- ・本大会の受け付け事務は、（株）勁草書房コミュニケーション事業部に委託しています。
- ・大会参加費、懇親会費、弁当代の振込先を記載したカードを同封します。振込期限は大会参加登録と同じ 8/30 です。

（注）振込が確認できた時点で事前参加登録完了とします。ホームページから登録を済ませただけでは、事前登録となりませんのでご注意ください。なお、事前登録された方には当日の『大会論文集』を確保します。当時の混雑緩和のため、できる限り事前登録していただくようお願いいたします。

なお、9 月 23 日（日）までの事前申込のキャンセルは、振込手数料を除いて返金しますので、（株）勁草書房コミュニケーション事業部にご連絡ください。

12 自由研究発表申し込みについて（締切 5/25 ※※大会参加登録も忘れずをお願いします。大会参加登録とは締切が異なりますのでご注意願います。）

(1) 自由研究発表の申し込みは、学会ホームページの第 6 2 回全国研究大会（東京大会）をご確認の上、①氏名、②所属、③連絡先（住所・勤務先・電話）、④メールアドレス、⑤発表題目、⑥プロジェクター使用の有無、を送信してください。発表申し込みは学会ホームページからを原則としますが、ご利用にならない方は、042-561-8810（（有）サンプロセス、担当立川・服部）までお問い合わせください。

⑤の発表題目は、『大会論文集』の原稿作成時に変更がないようにお願いします。連名での報告の場合は、代表一人の③連絡先（住所・電話）と④メールアドレスを記載してください。なお申し込み後、5 日以内に受付の返信をします。返信がない場合は、大会事務局のメールアドレスにお問い合わせください。

(2) 発表申し込み締切は、2012 年 5 月 25 日（金）です。

(3) 自由研究発表に関する連絡は、すべて記載のメールアドレスにて行いますので間違いのないようご注意ください。

(4) 『大会論文集』の原稿締切は、2012 年 7 月 27 日（金）です。ご準備ください。なお様式および提出方法については、申込者に e メールにて連絡致します。

(5) 自由研究発表の発表時間は、発表 20 分、質疑応答 10 分（計 30 分）です。自由研究発表に関する詳細（発表時間や発表会場）は大会プログラム（2 次案内・8 月上旬送付予定）に

掲載いたします。

(6) 発表の際は事務局で準備する PC, プロジェクターをご利用いただけます。発表データはパワーポイントを使用して作成し, USB メモリーでご持参ください。その他の機材の使用を希望される場合は, 発表申し込み時にお申し出ください。

13 会期中の昼食 (弁当)

教育実習期間中のため 29 日 (土) 30 日 (日) とともに大学生協は一般営業をしておりません。お弁当は両日ともお茶付で 800 円です。また正門付近と東門付近には, コンビニがあります。東門付近にはいくつか飲食店もあります。(30 日は日曜日のため東門は施錠されますので, 下図「グラウンド入口」をご利用ください。)

14 会場へのアクセス



JR 武蔵小金井駅北口からの場合

【京王バス】〔5 番バス停〕「小平団地行」に乗車約 10 分, 「学芸大正門」下車。

〔6 番バス停〕「中大循環」に乗車約 10 分, 「学芸大東門」下車。

【徒歩】約 20 分

JR 国分寺駅北口からの場合

【徒歩】約 20 分

【タクシー】JR 武蔵小金井駅北口・国分寺駅北口から, とともに基本料金。なお大学構内には駐車場はありませんので, 自動車での来校はご遠慮ください。

15 お問い合わせ

〈事前参加登録〉・〈参加費・弁当・懇親会費の振込〉

(株) 勁草書房コミュニケーション事業部

『日本社会科教育学会第 62 回全国研究大会 (東京大会)』担当デスク

メールアドレス sanko-62ndjass@keiso-comm.com

Fax: 03-3814-6904

〈その他の事項について〉

日本社会科教育学会第 62 回全国研究大会 (東京大会) 事務局

〒184-0015 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学人文社会科学系 社会科教育学研究室

e-mail jass62nd@u-gakugei.ac.jp (問い合わせはメールでお願いします)

なお大会に関する最新情報は, 学会ホームページ (<http://socialstudies.jp>) にて随時お知らせします。